

# ASEに参加した大学生のポジティブ感情と集団の雰囲気に関する研究

堀岡 貴 (生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)  
指導教員 林 綾子

キーワード：ASE, ポジティブ感情, 雰囲気

## 1. 序論

現代社会において、人と人をつなぐ対人関係は重要である。それらを円滑にさせるものとして、野外教育において発展してきたASEがある。ASEとは一人では解決できないような肉体的精神的課題に対し、メンバーひとりひとりがそれぞれの能力を出し合い、協力しあいながらグループで課題を解決していくアクティビティであり(布目, 1989), グループ毎に課題を進めていく過程により、集団へ好影響を与えるとされている。

対人関係やコミュニケーション能力を促進する感情としてポジティブ感情がある。その感情にはASEによってもたらされる感情と類似したものがあ、筆者はポジティブ感情の向上がASEでの効果をより促進するものとして期待出来ると考えた。

よって本研究ではASEに参加した大学生のポジティブ感情の変化を明らかにし、班の雰囲気との関連についても検討することを目的とした。

## 2. 研究方法

【対象者】B 大学生に協力依頼を行い、2013年11月7日、室内での活動に参加した13名(室内)と、11月14日、野外での活動に参加した14名(野外A・B)の計27名を対象とした。

【活動】自己紹介から始まり、ネームトス(アイスブレイキング)、ヘリウムフープ(コミュニケーション)、ラインナップ・マインフィールド(信頼関係)、クモの巣(問題解決)の順に活動を行った。

【調査方法】橋本ら(2011)によって開発されたMCL-S2尺度を筆者が独自に改良した4因子(快感情、リラックス感、活気、不安感)、16項目で構成されたものを用いて、ポジティブ感情の測定を行った。

井村ら(1999)で使用している班雰囲気調査用紙、10対の用語を8段階で評価されているものを、本研究でも用いた。これらを活動前(TEST1)、活動中(TEST2, 3)、活動終了後(TEST4)の4回実施した。

## 3. 結果と考察

1) ポジティブ感情の変化を明らかにするため、時期を要因とするFriedman検定を行った。その結果、各グループに有意差(野外A:  $X^2=16.13^{**}$ , 野外B:  $X^2=19.97^{**}$ , 室内  $X^2=30.98^{**}$ )が見られたので、Wilcoxonの符号付順位検定で3回の対比較を行った結果、各グループにASEを行う過程の中で、ポジティブ感情が有意に向上、あるいは向上傾向にあることが明らかとなった。ASE中の失敗体験などのネガティブな感情は成功体験によってポジティブ感情に

変換される。また他者受容によって活気に向上がもたらされ、不安感を改善・減少させる。それらによってポジティブ感情がもたらされたことが考えられる。図1に室内でのポジティブ感情の変化を示した。

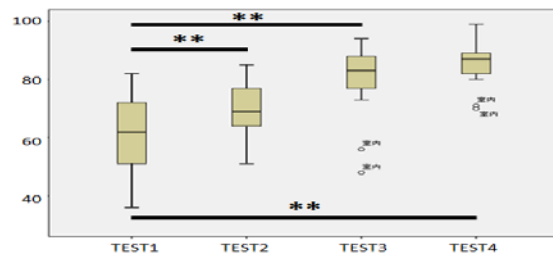


図1: ポジティブ感情合計の変化(室内) \*\*p<.01

2) 雰囲気も同様にFriedman検定を行った(野外A:  $X^2=19.35^{**}$ , 野外B:  $X^2=19.97^{**}$ , 室内  $X^2=36.23^{**}$ ).次にWilcoxonの符号付順位検定を行った結果、各グループにASEを行う過程の中で雰囲気が有意に向上、あるいは向上傾向にあることが明らかとなった。ASE中の楽しさ、成功体験、他者受容、達成感といった感情が雰囲気得点の向上をもたらしたと考えられる。

3) ASEにおけるポジティブ感情と雰囲気との関連を明らかにするため、グループ別・test毎にピアソンの積率相関分析を行った結果、一部のグループに有意な正の相関関係、あるいは傾向が認められた。ポジティブ感情の向上をもたらす要因と雰囲気の向上をもたらす要因に、共通性があると考えられる。

## 4. 結論

ポジティブ感情と雰囲気は、ASE活動前から活動中、活動後にかけて向上し、ポジティブ感情が高い者は、雰囲気が良いと感じる傾向にあることからその関係性が明らかとなった。

これらの結果から、ASEにおいてポジティブ感情をより高めるための活動構成を検討することや、ファシリテーションにおいて配慮を行うことは、集団の雰囲気をさらに向上させ、ASE自体の効果を高める上で有効であると言える。

## 引用文献

- 橋本公雄・村上雅彦(2011) 運動に伴う改訂版ポジティブ感情尺度(MCL-S.2)の信頼性と妥当性. 健康科学, 33:21-26.
- 井村仁・飯田稔・田嶋幸三・関根章文(1999) JFA・S級コーチ養成コースにおけるASE活用に関する基礎的研究. 野外教育研究, 2(2):37-42.
- 布目靖則(1989) キャンプテキスト. 日本野外教育研究会編. 安林書院: 東京, 127-133.